

つどい まなぶ むすぶ



よろこび

2016年6月号 (No.9)

CONTENTS

- ② 市民カレッジ講座
- ② 施設紹介・ようこそ！まなびの杜
「プレイルーム」
- ③ 市民センのひろば ほか
しみせん
- ③ 地域レポート・まちづくり探検隊
鉢形地域を考える会「ごみ出し支援」
- ④ INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり
「鹿嶋JAZZ実行委員長・山崎 比呂志さん」



まちづくり研修会



まちづくり交流会



演劇集団
「Project麗舞」



鹿嶋篆刻同好会 作品展



かしま灘楽習塾
「楽しい折り紙」



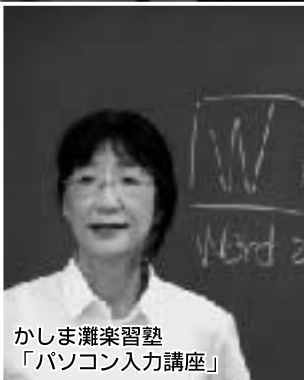
かしま灘楽習塾
「楽しい折り紙」



ツカサジモイシヨウカ
若藤扇伶城



かしま灘楽習塾
「パソコン入力講座」



かしま灘楽習塾
「パソコン入力講座」



かしま灘楽習塾
「スコティッシュカントリーダンス」



かしま灘楽習塾
「やさしく楽しいウクレレ」



かしま灘楽習塾
「エコ・クラフト若紫」(金曜1-3コース)



かしま灘楽習塾
「気軽に楽しめる軽音楽」

平成28年度 市民カレッジ講座

参加者募集

まちづくり市民センターでは、市民の誰もが生活スタイルに応じて自由に学び、楽しみ、一人ひとりが輝くために日常生活に密着した学びの場を提供しています。

対象 市内在住・在勤・在学の方

募集人員 各講座20人（応募者多数の場合は抽選により決定）

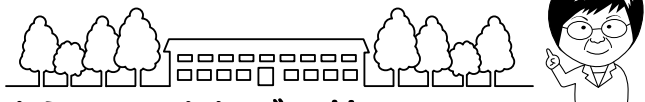
申込方法 まちづくり市民センターにある申込用紙に希望する講座名・住所・氏名・電話番号・年齢・性別を記入し、FAXまたは直接窓口で申込み
 ※申込書は、まちづくり市民センターのホームページからもダウンロードできます。

講座名	開催日時	受講料	申込締切
筑波大学発 『おもしろふしぎ科学実験工作隊』 ※小学生対象	7月29日(金) 9:45~11:45	300円 (材料費)	7/1(金)~ 7/15(金)
災害時の心構えと 鹿嶋市の防災への取組み(仮称)	8月31日(水) 13:30~15:00	無料	8/17(水)
気をつけよう! ニセ電話詐欺	9月23日(金) 13:30~15:00	無料	9/9(金)
歴史ウォーキング	10月21日(金) 時間は未定	未定	10/7(金)
野村證券(株)発 投資ってなあに? ～株・債券・為替等について～	12月9日(金) 13:30~15:00	無料	11/25(金)

※各講座の詳細については広報かしまに掲載予定です。

【問合せ】まちづくり市民センター TEL:83-1551 FAX:83-1553

～まちづくり市民センターの館内をシリーズで紹介～



ようこそ!まなびの杜

(vol.6)

「プレイルーム」



プレイルームは1階ふれあいサロンの右奥にある、西側が中庭に面した部屋です。

南壁面が鏡張り。グランドピアノ1台を配置し多目的に利用できる、施設の中でも人気のある部屋のひとつです。

ピアノ・その他の楽器練習などで、30分～1時間以内でも利用できます。予約が入っていても、隙間の時間を使っての利用も可能ですので、窓口までお問い合わせください。

《主な用途》

ピアノその他の楽器練習・コーラス・ダンス・ヨガ・ストレッチ・スポーツ吹矢など。



<プレイルーム データファイル>

【場 所】1階

【面 積】75㎡

【収 容 人 数】20名程度(ヨガマット使用時)

【備 品】ピアノ・ヨガマット・キッズマット・机・イス

【施設の予約】利用日の前月の1日から予約可能

【利用料金】市内在住・在勤・在学者は無料。但し、生涯学習活動ではない場合などは有料(2時間まで1,020円、2時間以降1時間毎に510円加算)となります。

利用しています!!
市民センの **ひろば**



かしま灘楽習塾
 「前結びきもの2分・帯3分」講師
 西澤 知子さん(厨)

着物姿が似合う街かしま♡。市民センターに「つどい」、前結び着付けを「まなび」、自分で着られる「よろこび」を一緒に楽しみましょう



かしま灘楽習塾
 「簡単ストレッチヨガ」講師
 松本 香織さん(神栖市)

おかげ様で6年目を迎えました。受講生の皆さんの体と心が少しずつ変わっていく様子に、改めてヨガの素晴らしさを感じます。これからも皆さんの生活に彩りと刺激を与えられるような存在でありたいと思います。

大正琴の練習に月に2回ほど利用させて頂いています。館内は掃除が行き届いていて、いつも心地よく練習に入れます。親切に対応して下さるスタッフの方々にも感謝です。



はまなす会
 田尻 悦子さん(武井)

地域レポート



▲「ありがとう」「お変わりないですか？」

**鉢形地域を考える会
 一人暮らし世帯のごみ出し支援**

鉢形地域を考える会(小古井芳一会長)では、昨年5月からごみ出しができない一人暮らしの高齢者世帯を回り、ごみ出しの支援活動を始めました。活動は毎週木曜日午前10時からおよそ1時間、会員12人が2人1組になり毎週交代で回収作業に当たります。

現在ごみ出し支援を希望された世帯は4世帯。5月12日、鉢形まちづくりセンターにその週の担当メンバーが集まり、予備のごみ袋などを手に、鉢形台、鉢形、平井丘の順に回りました。留守の場合でもいつもの場所にきちんとごみ袋が置かれています。すべての回収を終えると、そのまま市衛生センターに直行し、可燃・不燃別に処分。センターに戻ったのは11時過ぎでした。

地域の課題にできるだけ取り組もうとの趣旨で始まった活動ですが、毎月1回開かれる会議は44回を数えるほど息の長いものに。次のテーマは2年はかかるといふ「鉢形かるた」の制作と決まり、5月20日の定例会では、組織をどう立ち上げるかなど熱心なやり取りが交わされました。



▲お留守でもいつもの場所に



▲44回目の会議。かるた作りが次のテーマに

掲 示 板

まちづくり市民センター

館内クールビズ実施中です

- 実施期間
5月1日～9月30日
- エアコンは28℃設定です
省エネ、節電にご協力ください。
- ご来館は涼しい服装で
クールビズ、薄着を心がけてください。
- こまめな水分補給を
体内の水分不足は、熱中症を招きます。

ご協力をお願いします

玄関前築山を芝生に



ロータリー周辺の見通しがよくなりました。安全運転をお願いします。

JAZZの匂い あふれるまちを

鹿嶋JAZZ実行委員会委員長

山崎 比呂志さん (76歳・厨)



こころは ジャズ少年のまま

悠揚迫らぬとは山崎氏のような人をいうのだろう。まるで「ジャズ仙人」だ。ただジャズが好きで好きでしょうがない、というおもいが五感に伝わってきて、しかも押しつけがましいところが微塵もない。年齢を重ねただけの純粋にジャズ好きな少年がそこにいるかのようだ。仲間を魅了する源泉がここにある。

週末の鹿嶋通いが 永住の地に

高校のプラスバンドでドラムを叩いていたころからジャズドラマー志望。卒業後、弟子は取らぬ主義のジョージ川口氏(故人)に猛アタックして許されたバンドボーイを振り出しに、プロとしてのキャリアを重ねた。共演した錚々たるミュージシャンとの人脈の豊富さはかけがえのない財産。一流ミュージシャンが氏を慕い、事あるごとに手伝ってくれる。ジャズ界では雲の上のような存在だと仲間という。

新宿などのライブハウスを本拠地に海外にも遠征したりしていたが、



▲第1,3水曜夜が練習日。あいにくこの夜はコンピナートの定修期で集まれるメンバーは少なかった

脱サラした子息が鹿嶋で始めたたこ焼き店が当たって店舗数が増え、週末だけ手伝いに通うようになったのが鹿嶋市との馴れ初め。60歳を機に永住を決めた。「当時鹿嶋にジャズの匂いがなかった。以前はライブをやっていたという店もやめちゃって、どこへ行っても寂しかったですよ」と語る。



▲山崎氏を囲むようにして音を合わせる。時どき飛ばす指示は温かい

鹿嶋シーサイド ジャズの成功

少しずつ増えた仲間とジャズコンサートを立ち上げることになり、平成16年に「第1回鹿嶋シーサイドジャズ祭」(プロ、アマ共演)を開催した。手探りだらけのイベントだったが、氏の人脈で多くのミュージシャンがステージに上がってくれ、午後1時から7時という勤労文化会館ホールでの長丁場のコンサートはほぼ満席状態。協賛企業も見つかり何とか赤字にならずにすんだ。

「勤文ホールは演出メリットが大きいけれど、飲食や未就学児の入場などに自制的になってしまう。ジャズはもっと気楽に楽しんでいい音楽です」。そのおもいが勤文ホール開催10回を区切りに、城山公園での

無料野外ライブの実現につながった。

「客席の搬出入や天気心配など、これはこれで大変でしたよ」と破顔する。そこで目を付けたのがサッカースタジアムの南側に位置する『水の広場』。「客席になる傾斜状の周囲もステージになるスペースもある。持ってこいの場所です」

今年「Liveカシマin水の広場」と題し、10月10日に開催する。

ジャズシンガーの夫人と 二人三脚

「若い人はよくジャズは分からないという。音楽は分かる分からないではなく、好きな音楽かどうか、いい音楽かどうかだけ。もっと知ってほしい」としみじみ語る。

取材日の翌日は新宿ピットインでのライブの日。「自分のドラムを車に積み込み、ライブには必ず良き批評家である妻を乗せて出かけます」と語る表情はやっぱり少年のようだった。氏を鹿嶋に住ませるきっかけとなった子息は、今やプロの写真家として千葉県に在住という。

11月には、NHKの朝ドラ「あまちゃん」の音楽を担当した作曲家でギタリストの大友良英さんとの海外での演奏が決まっている。

<PROFILE>

■やまざき・ひろし

S15東京都生まれ、高校卒業後プロのジャズドラマーの道に。H14鹿嶋市に移り住んで、ジャズシンガーの瑞江夫人とたこ焼き店「京山」を営みながら、定期的にライブ活動を続ける。仲間は敬愛して「雲の上のひと」という。

